

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 埼玉大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,512	6,561	49	(注1)
施設整備費補助金	532	773	241	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	67	1,090	1,023	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	37	37	0	
自己収入	5,150	5,202	52	
授業料、入学金及び検定料収入	4,979	5,057	78	(注4)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	171	145	△ 26	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	690	872	182	(注6)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	95	320	225	(注7)
計	13,083	14,855	1,772	
支出				
業務費	9,652	9,773	121	
教育研究経費	9,652	9,773	121	(注8)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	2,105	1,838	△ 267	(注9)
施設整備費	569	810	241	(注10)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	67	1,090	1,023	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	690	857	167	(注12)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	13,083	14,368	1,285	
収入-支出	0	487	487	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、決算額に本年度使用した前年度以前の繰越額を含んでいるため、予算額に比して決算額が49百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、補正予算が措置されことにより、予算額に比して決算額が241百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、設備整備費補助金、研究拠点形成費等補助金が補正予算で措置されたことなどにより、予算額に比して決算額が1,023百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料が平成22年度入学者の前納分が多かったことなどや、検定料が入学志願者の増加したことにより、予算額に比して決算額が78百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、講習料の受入が見込みより少なかったこと等により、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。
- (注6) 民間機関等からの受託研究等の受入、科学研究費補助金間接経費の受入が見込みより多かったことにより、予算額に比して決算額が182百万円多額となっています。なお、決算額には前年度以前における産学連携等研究収入及び寄附金収入に係る繰越額のうち、当年度に使用した40百万円を含んでいます。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初予定の計画を変更したことにより、予算額に比して決算額が225百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、当初予定の計画を変更し、学生宿舎改修工事に係る経費が増えたこと等により、予算額に比して決算額が121百万円多額となっています。
- (注9) 一般管理費については、退職手当が見込みより少なかったこと等により、予算額に比して決算額が267百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が241百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,023百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が167百万円多額となっています。

○損益計算書との集計区分の相違について

- (1) 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費及び教育研究支援経費が含まれ、寄附金、施設整備費、補助金等を財源とする費用は含まれていません。
- (2) 損益計算書の役員人件費は、業務費の一般管理費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、業務費の教育研究経費、一般管理費、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等にそれぞれ含まれています。